

06 知識・技能を身に付ける

取組事例

12

樹木と友だちになろう

～ 樹木の観察を通して ～

ときだ
多気町立外城田小学校 4 年生



森のせんせいから木の話をしている様子

実施時期	令和 5 年 7 月
実施場所	校庭
時間	2 時限（45分× 2）
対象・人数	小学 4 年生 10人
講師	森のせんせい 1 人 （宮川森林組合）
備考	みえ森づくりサポートセンターによる森林教育出前授業

めざす姿	06知識・技能を身に付ける （ 01 遊び・楽しむ、 02 親しむ、 03 興味・関心を持つ、 04 違いに気づく）
ねらい	樹木のつくりを観察し、図鑑を使って樹種を調べる
内容	・ 樹木の体のつくりの違いや見方を学ぶ ・ 図鑑を使って樹木の種類を調べる ・ 校庭の樹木に樹木銘板をつける
学習指導要領との関連	比較する（小学 3 年生理科） 面白さ・不思議さ（小学 1 ～ 2 年生生活）、楽しむ（小学 1 ～ 4 年生道徳）、身の回りの生物・植物の体のつくり（根・茎・葉）（小学 3 年生理科）、森林と人々の暮らし（小学 5 年生社会科）、自然の偉大さ（小学 5 ～ 6 年生道徳）



図鑑の使い方を教えてもらっている様子



校庭の木の樹種名を図鑑で調べている様子

子どもの反応	・ 学校に20種類以上の木があることに驚きました。もっとよく観察して、木に詳しくなりたいです。次は、木が何かなのかを教えてください。 ・ クリとクヌギは似ているけれど、葉の特徴をよく見たら見分けられることがわかりました。 ・ 名前が分からなかったら「本で調べてみよう。」と言われてもらって、2つ自分で調べてみたら調べることができました。
学校のコメント	・ 意欲的に活動し、実物を見て観察したり、調べたりすることができました。その経験と意欲の高まりが、後の学習（理科・社会科・総合）へつながったと思います。